

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
F-LINE株式会社	代表取締役 社長執行役員	深山 隆	東京都中央区八丁堀三丁目3番5号	貨物自動車運送事業／貨物運送取扱事業／倉庫事業／通関業／港湾運送事業 等	<a href="https://www.f-line.tokyo.jp/">https://www.f-line.tokyo.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年6月11日
-------	------------

### (取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

### (法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

### (契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	F ①	共同配送を足がかりとした物流の整流化の推進	F-LINE(株)への出資各社による共同配送を足がかりに、保管・配送の効率化、庭先条件の統一化、幹線便の共同化による乗務員の負荷軽減、調達便の共同化による積載率向上・入庫車両集約など、物流の整流化を図ります。
2	F ②	持続可能な物流環境を実現するプラットフォームの創出	発荷主・着荷主と協議・連携し、「リードタイムの延長」、「検品水準の適正化」などの新たな業務の仕組み化、物流システムや伝票の統一化などについて、真摯に取り組むと共に、自ら積極的に提案します。
3	A ①	物流の改善提案と協力	荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について、自社内および業務委託先から要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自ら発荷主・着荷主へ積極的に提案をいたします。
4	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全確保のため、自ら責任をもって、運行中止・中断等の判断を行います。
5	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	トラックによる500km以上の長距離区間についてモーダルシフトを推進。トラックドライバー不足の代替手段として、環境に左右されない安定的で付加価値の高い幹線輸送を提供します。
6	F ③	働き方改革や輸配送や荷役の安全性向上への積極的な取り組み	残業時間の上限規制遵守、乗務員の作業軽減、法令順守を目的とした附帯作業料金化に向けて、真摯に取り組めます。また、安全運転のエキスパートの育成や、安全で高品質な倉庫作業を行う現場リーダーの育成に努めます。

PR欄	2019年4月に、味の素物流(株)、カゴメ物流サービス(株)、ハウス物流サービス(株)(事業の一部)、F-LINE(株)、九州F-LINE(株)の物流事業を統合し、新生F-LINE(株)が発足致しました。当社のミッションは、「物流の整流化」を徹底的に図ること、食品・日用品等の各業界における「物流プラットフォーム」を創り上げること、そして「永続的な物流競争力」を実現することです。そのために、人財開発、設備投資、システム技術開発、物流R&Dに積極的に取り組み、従来の物流を超えた『超・物流』を目指してまいります。
-----	--